



男子第 69 回女子第 68 回 西日本学生バスケットボール選手権大会

競技注意事項

1. 競技方法 トーナメント方式（ただし 3 位決定戦を行う）
2. 競技規則 現行の「日本バスケットボール協会競技規則」を適用する。
3. 組み合わせ 組み合わせ抽選は、主管学連である関西学生バスケットボール連盟・関西女子学生バスケットボール連盟の責任抽選とする。
4. エントリー
 - ・スタッフのエントリーは、部長・主務の各 1 名と、副部長・総監督・監督・助監督・コーチ・A コーチ・学生コーチ・トレーナー・副務・MGの中から 5 名の計 7 名とする。また、部長が監督を兼任している場合は 1 名と数える。
 - ・選手の大会エントリーは、18 名以内とし、選手のゲームエントリーも、同じ 18 名以内とする。
 - ・外国人選手のエントリーについて人数制限はないが、競技中、コート上でプレイできる外国人選手は各チーム 1 名とする。
 - ・その他は全日本大学バスケットボール連盟の規約に準ずる。
 - ・大会エントリーの追加・変更は、指定された期間においてのみ認める。
5. ユニフォーム
 - ・ユニフォームは、組み合わせ番号の小さいチームが淡色、大きいチームが濃色を着用する。また、全員が同じ色形のものを着用するものとする。
(ゼッケンの使用・テーピング等での加工は認めない)
 - ・エントリー番号は 00 番または 0 番及び 1~99 番、とする（同一チーム内で同時に 0 番と 00 番がエントリーすることが可能）。
 - ・故意にエントリーされた番号以外のユニフォームを着て試合に出場することは認めない。
***出場が発覚した時点で即刻退場及びベンチテクニカルを科す。また、今大会期間中いかなる試合の出場を認めない。**
 - ・ユニフォームの下に T シャツを着用することは認められない。
 - ・パンツの長さは膝上までとする。膝頭にかかってしまう長さのパンツは、公式大会のユニフォームとしては認められない。
 - ・ユニフォームのシャツからはみ出してしまう上半身用・腕用のサポーター様のもの(パワーサポーター・パワースリーブなど通常のサポーターを含む)または、下脚部または大腿部のサポーター様のもの(パワーサポーター・パワーソックス・パンツからはみ出してしまうアンダーガーマントなどを含む)を着用する場合、ユニフォームと同色もしくは黒色もしくは白色のものを着用することができる。但し、上記のものを選手一人が複数着用する場合、または、複数の選手がいずれかを着用する場合は、着用するものの色を統一しなければならない。
 - ・上記に反するサポーター様のもの(金具・プラスチックが付いたもの、極端に大きなものなど、競技上危険を伴うものを含む)を着用する場合は、主催者指定の用紙で申請を行うことで着用を認める。ただし、必要性が低いものに関してはこれの限りではない。
 - ・やむを得ない事情により上記を遵守できない場合は、事前に当連盟に申請し許可を得ること。



- ・テーピングを施した部位がユニフォームのシャツやパンツからはみ出してしまっている場合は、それぞれユニフォームと同様の色のサポーターを用いて覆っておくことが望ましいが、必ずしもその部位を覆わなくてもよく、テーピング等の色もユニフォームと同色でなくてもよい。
 - ・膝・足首・肩などの固定用サポーターに関しても、ユニフォームと同様の色のものであることが望ましいが、必ずしもユニフォームと同様の色のものでなくてもよい。
 - ・手甲・リストバンド・ヘッドバンドはユニフォームと同色が望ましい。
- ※なお、このユニフォーム規則は男子第 69 回女子第 68 回 西日本学生バスケットボール選手権大会のみに適用される。

6. ベンチ
- ・ベンチは、組み合わせ番号の小さいチームが、T.O. 席に向かって右側とする。
 - ・ベンチにはゲームエントリーされた選手及び、スタッフ以外は入ることができない。
7. T.O.
- ・T.O. は、全ゲーム主催者の指定により行う（組合せで確認のこと）。
 - ・※棄権があった場合、棄権のあった試合の次試合の T.O. は前試合の負けチームが行う。
 - ・T.O. にあたっているチームは必ず 10 分前までに集合し、原則 7 名で行うこと。
8. メンバー表
- ・メンバー表は、主催者指定の用紙を用い、代表者会議でチェックを受け試合開始 45 分前には、大会本部にコピーしたメンバー表を提出する。
9. ゲーム開始
- ・ゲーム開始は、原則として定刻通りに開始する。但し、前ゲームが定刻に終了しない場合、前ゲーム終了 10 分後に開始する。
10. ウォームアップ
- ・ハーフタイムに次の試合の両チームはコートでアップを行うことが出来ない。ハーフタイムは試合を行っている両チームがウォームアップを行えるものとする。また、次の試合の両チームは主催者指定の場所でのみウォームアップを行うものとする。会場によっては指定場所が外の場合もあるためアウトシューズを各自で持参すること。
 - ・没収試合または、棄権が発生したコートでの練習は、定刻開始 20 分前から使用可能とする。また、ボールの使用も同様とする。
11. 棄権
- ・ゲームエントリーが試合開始予定時刻より 15 分遅れた場合は棄権とみなす。
 - ・無断で棄権した場合は 2 年間の出場停止とする。
12. シード権
- ・昨年大会のベスト 8 チームにシード権を与える。ベスト 9～16 チームについては、抽選によりシード順位を決定する。
13. その他
- ・主催者が準備した Molten 製（男子 BGL7X、女子 BGL6X）を試合球とする。
 - ・なお、練習球は各チームで用意すること。
 - ・開場時刻は第 1 試合開始時刻の **60 分前**とする。
 - ・第 1 試合のコートアップ開始可能時刻は第 1 試合開始時刻の **45 分前**とする。
 - ・選手は、危険と思われるものは身につけない（指輪・ピアス・ヘアピンなど）。
 - ・ビデオを撮影する際はバッテリーを使用すること（会場のコンセントの使用禁止）。
 - ・ベンチエリアからのビデオ撮影を禁止する。
 - ・イン・アウト用シューズの区別をはっきりさせること（フロアを傷つける物は禁止する）。
 - ・各チームは、負傷に対しての処置に配慮し、保険証または、そのコピーを持参すること。
 - ・*大会中、各自でスポーツ傷害保険に加入するなど、自己責任で対処すること。試合中の事故についても主催者は責任を負わない。



- ・ 主催者が発行する、IDカードの提示のない者は、フロアへの出入りを認めない。
- ・ 各チームで出したゴミは必ず各チームで持ち帰ること。
- ・ 貴重品の管理は各チームで行うこと。
- ※万が一、盗難・紛失等があった場合も当実行委員会は責任を負わない。
- ・ 各会場での忘れ物・落し物があった場合、2週間当実行委員会で保管した上で、持ち主が現れなければ、当連盟が責任を持って処分する。
- ・ 各施設の利用規則を厳守すること。

※上記の規定にない競技上の問題が生じた場合は、本大会競技委員会の裁定に従うこと。
また、指導が必要な事象に関しては、当実行委員会より当該チーム所属の地区連盟に通告し、その処分については地区連盟が裁量権を持つ。

西日本学生バスケットボール選手権大会実行委員会